令和４年度第９回(通算 129 回)歩こう会

計画検討会＆懇親会開催記

開催日　2024 年２月４日(日)5 日(月)
場　所　南三陸町
「素材にこだわる漁師の宿下道荘」
参加者　７名　　記：歩こう会幹事 萩原鉄雄さん

令和６年度の歩く場所の検討会と懇親会を南三陸町の民宿において観光を兼ねて開催しました。
当日の天候は浜風が冷たく感じましたが晴天の旅行日和でした。
仙台を高速バス 10 時 50 分発に乗車し、1 時間 40 分後南三陸町**「道の駅さんさん南三陸停」**に大崎市より直行の森村さんと合流したのち南三陸さんさん商店街に食事に向かいました。

南三陸さんさん商店街は東日本大震災で大きな被害を受けた志津川地区の事業者が仮営業ののち 2017 年本設された商店街に移り現在は色々な業種の 28 店舗で営業されています。
東日本大震災後 13 年の経過したため人々の関心も薄れ日曜日でも人出はまばらでした。
食事は**「はしもと」**において宿での海の幸尽くしの料理になるだろうと簡単食にしました。
食事後八幡川の中橋を渡り「旧防災庁舎」と「南三陸町震災復興祈念公園」を訪ねる。
赤い鉄骨の三階建ての建物の屋上より 2m も高い津波に見舞われ、最後まで避難を呼びかけていた女子職員をはじめ 43 名の職員が津波の犠牲になりました。志津川地区では約 900 名の方々が津波の犠牲となり死亡と行方不明になっています。

「南三陸 311 メモリアル」は建築家「隅研吾氏」のデザインにより、約 10m嵩上げされた大地に 2022 年９月にオープンしました。
震災と津波の実態と歴史のエントランスホールや町民のあの日の現実に出会った証言の声が聴ける展示ギャラリーなどがあります。
多数のそれぞれの声を聴き脇のパネルには関連事項が展示。
建物内には津波 15m がここまで来ましたと表示されていました。

モアイ像は国道 45 号線の反対側**「うみべの広場」**に設置されていました。震災前に設置されていたレプリカのモアイ像がありましたが津波で壊れてしまいました。
友好都市であるチリ共和国のイースター島より ２ 体の本物のモアイ像が贈られました。高さ３ｔ重さ２ｔあるそうです。

石像説明銘板によるとイースター島には887体のモアイ像が存在とのこと南三陸さんさん商店街より約3km右手に海を望みながらゆっくりと宿泊先の下道荘に３時に着きました。
宿の若女将より説明を受けたのち部屋割りを行い各自の部屋に入室。

3 時 30 分より約 2 時間を費やして、2024 年歩きたい場所会員より提案された 16 カ所について 4 月より順に 11 月までの歩きたい所を侃々諤々話し合い開催地を決定しました。
今回提案を採用されなかった会員の皆様は次年度に再度提案を希望します。開催地決定ののち入浴、楽しみにしていた夕食の時間を過ごしました。

夕食の期待はしていましたが期待以上の海の幸尽くし。
全員に満足いただけよかったです。
10 数種類の新鮮な魚介類が次々と目の前に現れ最後は蛸の釜めしで締となりました。
温泉旅館の 2 万円以上クラスの料理に負けないと思われます。
食べ物が美味しいためビールや日本酒も 30 本近く喉を潤し胃袋に収まりました。

夕食後は部屋に戻っての 2 次会も盛り上がりました。
翌朝会計の時に昨夜の夕食並みの食事は日帰りでと尋ねたところ、日帰宴会も受付とのお話でした。
料金は消費税込みで 4,400 円になります。夏にはウニもでますとのこと。
観光を兼ねて家族で予約してみてはいかがですか。さんさん商店街の海鮮丼の 2,500 円-3,000 円と比較はできません。雲泥の差があります。
民宿も東日本大震災の時現在駐車場になっている場所で 1 階まで浸水の被害にあったため高台の現在地を整地して移転して 12 年になりますとご主人が話されました。
宿からは袖浜漁港・荒島遠くは南三陸ホテル観洋まで志津川湾内を見渡せます。
出発の時間まで近くを散歩しました。袖浜漁港には整然と船が並んできれいな光景です。
船外機や船の盗難防止のため岸壁に係留し**ないそうです。**

下道荘さんのホームページより

「北の恋人岬」は約 40 年前より荒れた公園を 2018 年ボランティアの方々の協力で完成した志津川湾を望む絶景スポットです。
幸せの鐘や記念碑も設置されています。伝言板には 74 歳と 72 歳が 2 回目です。77 歳になったとき 3 回目としてそれまで元気でなど多くの人の言葉が書き込まれていました。
幸せの鐘を会員それぞれの思いで鳴らしました。
帰りは民宿のバスでさんさん商店街まで送迎してもらい商店街で海産物のお土産を求めて
仙台に戻りました。朝方雲が厚く海よりの太陽を見ることできなかったのがちょっと残念。